

陽気のこころ

天理教

THE LINK O

「陽気ぐらしの天理教②」

私たちが毎日使う心は自分のものでありますが、心というものは一日の中でも様々に変化し、浮き沈みがあったり、自分で自分の心をコントロール出来なくなったりする時もあります。

心はコロコロ変わるから心であるとも言われます。この不安定な心を穏やかに安定させ、毎日を暮らすことが出来たならば、きっと多くの幸せを呼ぶことになっていくと思います。不安定で浮き沈みの激しい心は大人気ないものであり、気付かない内に自分の周りから人を遠ざけてしまいがちになります。

天理教では心の使い方ということを非常に大切なこととして教えられています。「心一つが我がの理」とも教えられ、毎日の心遣いや行いが種となって、将来の自分自身を含めた身のまわりに芽生えてくると聞かせていただきます。このようなお話をしますと、そんなばかげた話あるわけがないと思われる方も多いと思いますが、意外にも最近はこちらの「心」の不思議に気付いている人や会社が増えているのです。ですから心の不思議を信じて心の持ち方を大切にしている人や会社では、思いのほか、様々なことがうまく運んでいるようです。

さて、最近世の中でよく耳にする偽装や虚偽、隠ぺいなどの問題は、社会全体の信用を崩し、多くの不安を与えています。これも元はといえば一人ひとりの心の弱さや欲望が招いた結果であると思います。神様は「欲にまみれた生き方は新たな欲を生み、きりがなくなってしまう、泥水の中でもがき苦しむように、周りのことが見えなくなってしまうよ」と注意をされています。ともすれば自己中心的で、他人のことは関係ないという考え方に陥りやすい今日の風潮ですが、こうした心遣いの人が多くなるとは収まりのつかない大変な世の中となってしまう。

今、私たちが安心して平和で穏やかな暮らしをするためにも、一人ひとりの心の強さが求められていると強く感じます。では、心の強さとは何でしょうか。それは人のことを思いやることが出来ること、目先の損得に惑わされず心を澄ませる努力をしていくこと、裏表のない誠の心を貫くようにすることではないかと思います。しかし、こうしたことは頭ではわかっているにもかかわらず実行出来ないものであります。まずは、不安定で弱い心が運命を狭めることにつながるということを認識して、強い心を持つことが幸せの種になっていくのだと意識することが大切だと思います。

天理教では幸せに向かう心のあり方を学ぶことが出来ます。是非天理教の教えをお聞きいただいて、今よりももっと幸せを感じる素晴らしい人生を歩んでいただきたいと思います。どうぞ一度お近くの天理教の教会をお尋ね下さい。